

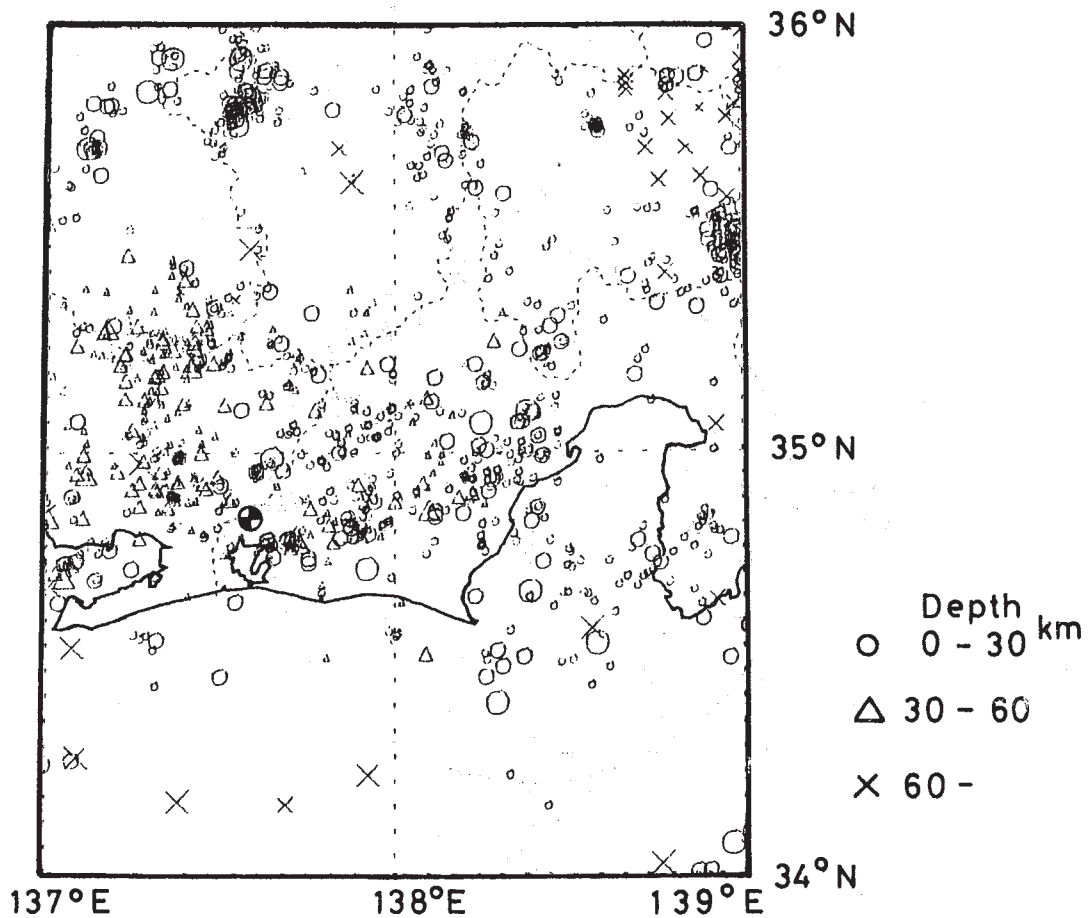
### 5 - 3 1983年3月16日の浜名湖付近の地震について

#### The Earthquake near Lake Hamana, March 16, 1983

国立防災科学技術センター  
National Research Center for Disaster Prevention

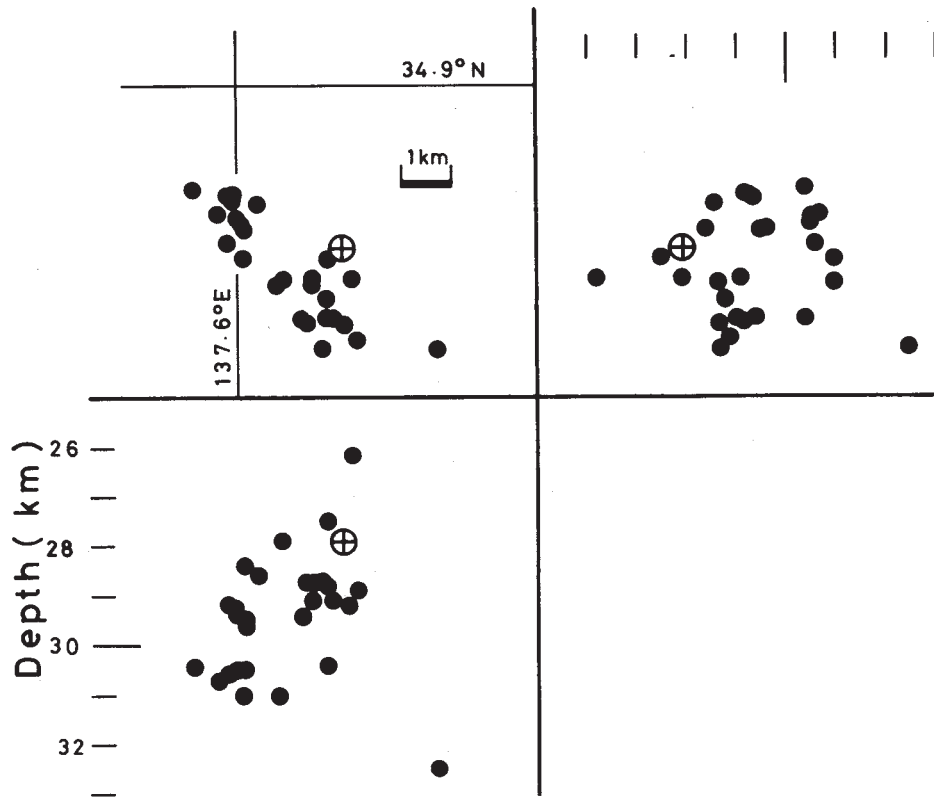
1983年3月16日02時27分頃静岡県浜名湖の北側でマグニチュード5.7(JMA)の地震が発生した。本震の位置は第1図に示されているが、北緯34.87°、東経137.62°、深さ28kmである。この地震ではほぼ2日にわたって約30個の余震が観測された。本震と余震の位置を第2図に示す。本震のメカニズム解を第3図に示すが、北東-南西方向に張力軸のある横ずれ型断層である。このメカニズム解から期待される断層面と余震の分布方向との間には一致がみられなかった。この地震は、震源の深さとメカニズム解からもぐり込んだフィリピン海プレート内地震と考えられる。

( 鵜川 元雄 )



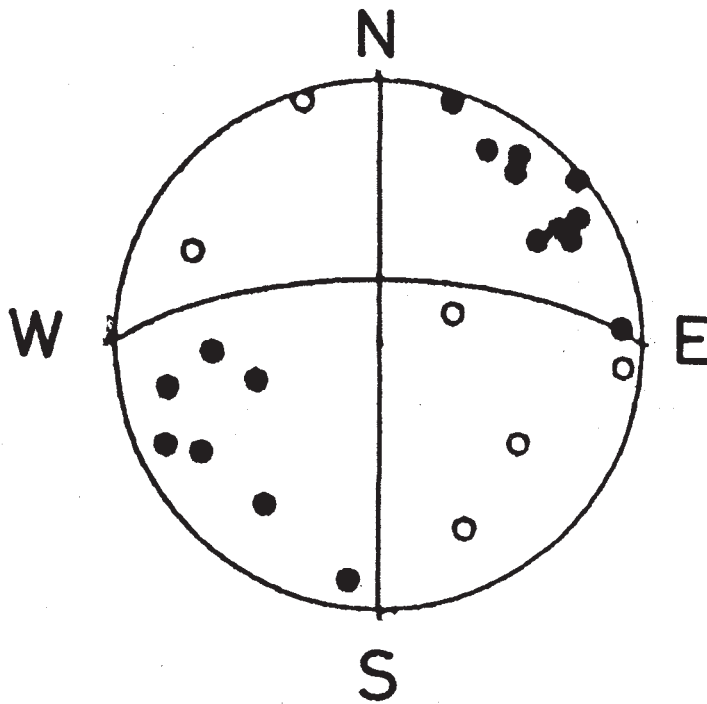
第1図 本震 (●) と1982年の震源分布

Fig. 1 Main shock (●) and epicenter distribution in 1982.



第2図 本震 (⊕) と余震 (●) の分布

Fig. 2 Distribution of Main shock (⊕) and aftershocks (●).



第3図 本震のメカニズム解。下半球等積投影, 白丸は初動引き, 黒丸は初動押しを示す。

Fig. 3 Focal mechanism solution of main shock. The plots are on the lower hemisphere of equal area projection. Open and solid circles indicate dilational and compressional first motions, respectively.